

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
放課後等デイサービスNOAH小久保		2025年2月25日					
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・限りあるスペースで過ごしやすい環境構成を行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		・日々のご利用児童の人数に応じて職員配置を考えています。	・今後もよりよい環境構成を考えていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		・建物の構造上、バリアフリーはできていません。 障がいの特性に合わせて、個別に対応しています。	・今後も障害特性に応じた設備整備を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・日々清潔を保てるよう清掃をしています。 ・子どもたちの様子に合わせた環境構成や玩具の並びを考えています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		・様子を見てクールダウンとして個室へ誘導しています。 時には個別活動時にも使っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		・MTを毎日行い、振り返りとともにPDCAを繰り返し職員と共有しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・評価表だけでなく日頃から保護者からの意見は全てスタッフで共有しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・6に同じく毎日のMTから職員の意見交換も行い業務に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	・第三者による外部評価は行っていません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	50%	50%	・内部研修や外部研修などに参加しています。 ・研修報告によって、学びを共有しています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・個別の支援プログラムの作成、公表をしています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・日頃の子どもの様子や気付きを職員と共有し合い計画作成を行っています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・12に同じになります。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・計画に沿った支援とその先のよりよい支援に繋がるアイデアを職員全体で考えています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		・確認を行っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・それぞれの年齢、環境に合わせて必要な支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・職員MTにて職員全体で月毎のプログラムを考えています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・同じ活動・内容にならないようイベントを含めてスタッフ間でMTを重ねています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		・個別活動、集団活動ともにどちらにも繋げていけるよう工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・毎朝MTからはじめています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		・送迎終了後職員で振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・支援計画の5領域に合わせて毎日の記録、反省を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・利用児童の様子から見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%		・複数組み合わせ、支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		・本人意思の尊重も含め、時と場合に応じて利用児童が選択できる場面を作っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・利用児童の様子を理解した職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	・嘱託医、保育など支援体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		・必要な情報をその都度、共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%	・児童発達事業所等の担当者とその都度情報交換を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0%	100%	・まだ移行支援に繋がる事例はありませんが、準備はできています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	75%	25%	・必要な研修を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	・他の放課後等デイサービスが参加するイベントには参加をしています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%		・明石市による連絡交換会に毎月参加をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・限られた時間の中で可能な限り、日々の様子をお伝えできるようにしています。	・送迎時の限られた時間だけでなく、一層利用児童の様子を共有できるよう工夫していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		・家族参加型のイベントを開催しています。	・参加可能な日時が限定されてしまう保護者の方もいるので頻度を増やしていければと思います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・契約時に説明を行っています。 ・その都度説明が必要な場合には対応をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・双方の意向を確認する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		・同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・相談内容やタイミングを見てその都度、相談に応じています。	・相談の窓口がせまく、お話しを伺える機会が少ないので機会を作っていきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	75%	25%	・35に同じく実施しています。	・35に同じ。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・苦情解決の窓口の設置、迅速な対応ができるような体制を整えています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		・活動の様子、予定など発信しています。	・活動の様子、予定などお伝えはしていますがより伝わりやすいよう一層工夫をしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・厳重に保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・なるべく伝わりやすいよう配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	75%	25%	・地域住民参加型のイベントには参加をいています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・作成、訓練を行っています。	・簡単な周知のみになっているので、月間の予定での訓練実施日の開示を行います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・避難訓練を定期的に実施しています。	・46に同じ。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		・利用児童の様子を把握、職員間での共有を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	50%	50%	・対応できる準備をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		・毎月の訓練、事例を元にMTを行い、支援を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			・家族への周知が不十分だと思いますのでこれから整備していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・ヒヤリハットの共有、作成を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・外部の研修、職員間での意見交換を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		・必要と判断した利用児童については行っています。		